

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	嚥下障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次・三年次		学期及び曜時限	通年 火曜4,5限 他	教室名	404/405教室
担 当 教 員	岩田久義、佐藤勝之 児嶋吉功、門脇康浩他	実務経験と その関連資格	門脇:介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害の リハビリテーションを実施していた。			
《授業科目における学習内容》						
嚥下障害の基礎知識について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題を考える。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」医学書院 「嚥下障害ポケットマニュアル」医歯薬出版 「脳卒中の摂食嚥下障害 第3版」医歯薬出版						
《授業外における学習方法》						
授業後のレポート課題、および検査練習						
《履修に当たっての留意点》						
2年次に60時間、3年次に30時間を履修する。3年次の講義終了後に実施する定期試験によって評価し、科目認定を行う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害の概念について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読	
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害とは			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下に関わる筋群について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読	
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下に関わる筋群①			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下に関わる筋群について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読	
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下に関わる筋群②			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下に関わる筋群について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読	
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下に関わる筋群③			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下のメカニズムについて理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読	
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下のメカニズム			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下の期と相について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	嚥下の期と相		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢と摂食嚥下障害の関係について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	加齢と摂食嚥下障害		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の障害の原因と疾患について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の障害の原因と疾患①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下の障害の原因と疾患について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の障害の原因と疾患②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	球麻痺と偽(仮)性球麻痺について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	球麻痺と偽(仮)性球麻痺		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の評価について理解し、実践できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の評価①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の評価について理解し、実践できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の評価②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の評価について理解し、実践できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の評価③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の評価について理解し、実践できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の評価④		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業の内容について理解し、説明できるようになる。	教科書、配布資料	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	まとめ		